

—ハードとソフトの両面から—

岡山市教育委員会 課長補佐 青木 将

1 はじめに

平成14年度より実施されている新教育課程では、各学校がゆとりの中で特色ある教育を展開し、児童生徒の豊かな人間性の育成や基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かし、自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」を培うことを基本的なねらいとしている。岡山市教育委員会でも、「岡山『人づくり』プラン」を策定し、「自立する子どもの育成」に向け、各学校の「学校教育基本計画」に基づいた「特色ある学校づくり」の推進に向けた様々な施策を打ち出している。その一つが、岡山市における「教育の情報化」に向けた取組である。

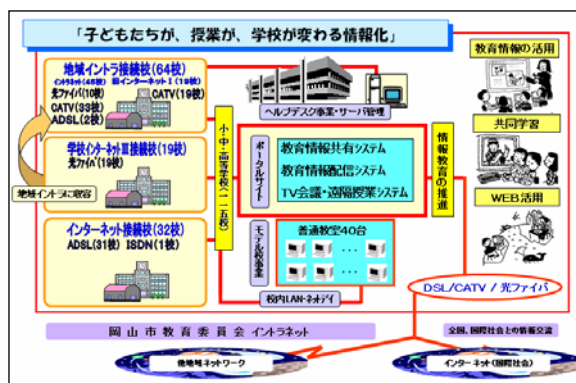
今後、学校教育における情報手段の活用は、自ら学び、自ら考える力を育成するための手だてとして、より大きな位置を占めてくると考えられる。そのためにも、それぞれの学校の学習環境を生かし、ねらいを明確にした活用を工夫しながら、特色ある情報化を進めていくことが重要となってくる。本稿では、現在、岡山市が実施している「教育の情報化」推進のための施策について説明する。

2 教育の目的と学校の情報化に向けた具体的施策

学校の情報化は教育の『目的』を実現するための『手段』『方法』である。情報教育を進めるにあたっては、各学校、各教師が、それぞれの置かれている環境や現状、また、各教科等の本質や学習のねらいをふまえて、「子どもたちにとって、今、何が必要なのか？」ということを考え、適切に、かつ、効率的に、情報機器及びコンテンツの活用を行わなければならない。教育の情報化を進めていくためには、情報化を教育目標のなかにどう位置づければ子どもの学びにプラスになるかを検証し、適切な環境整備を行う必要がある。こうした情報化の本質に立ち返ったとき、行政の果たすべき役割も見えてくる。

(1) 情報環境（ハードウェア整備）の支援 [情報化推進整備事業]

岡山市の学校数は、現在、小学校８２校、中学校３３校、高等学校１校である。国の指針であるミレニアムプロジェクトの実現を目指し、格差是正事業等の国の補助事業を活用しながら整備計画を策定、実施してきている。教育指導用回線については、概ねそのブロードバンド化を図ることができた。また、校内ＬＡＮについては小学校では約半数の整備を完了した。しかし、残り小学校や多くの中学校では部分的な整備にとどまっており、現在、ネットディ等の実施も含め、対策を講じているところである。なお、環境整備支援として、「情報教育ヘルプデスク」を設置し、各学校からの相談や質問への対応業務を行っている。



(2) 特色ある学校づくりを支援 「岡山市「教育の情報化」モデル校事業」

本事業は「学校の情報化」に向け、各校の実態や教育目標に沿って積極的に取組を進めている学校をモデル校として機器整備を図り、それらを活用した実践を通して全市的な情報教育の活性化へとつなげていくことを目指したものである。一昨年度より、小・中学校から各校の特色を踏まえたＩＴのアイデアを募集し、現在までに２２校を選定、ノートパソコン４０台のほかプロジェクターやデジタルカメラ等を配備した。現在、これらの学校では、無線ＬＡＮ対応のノートパソコンを校内の各所で使用、教科学習や総合的な学習の時間の中で適切に活用することによって、道具としてのコンピュータ利用に成果を上げている。また、学習指導の改善だけでなく、学校改革や地域への情報発信などさまざまな側面での情報手段の活用も始まっている。

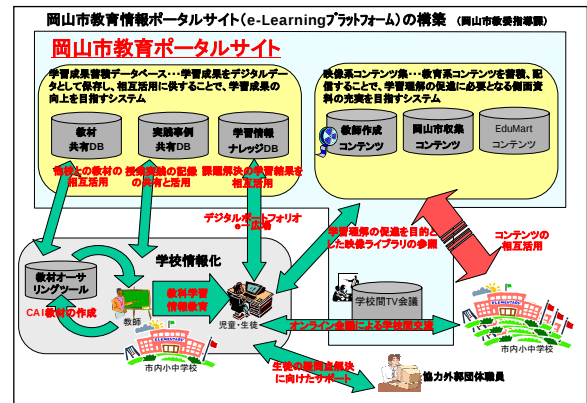
モデル校同士は、本年度も定期的に連絡会をもち、各校の実践を検討し、その成果をモデル校以外の学校にホームページ等で積極的に紹介している。また、昨年度からは、情報化を進める地域の拠点として、近隣校を対象とした教職員研修も実施している。



(3) 子どもたちの学習や先生の教育活動を支援 [岡山市教育ポータルサイト支援事業]

岡山市教育ポータルサイト『みんな お・い・で』は、子どもたちがすぐ使える自主作成教材や作品などの資料、子どもたちが見つけた便利なWebサイト、先生方の身近な実践やその指導案、教育利用目的で集められた地域の教材など、様々なデジタルコンテンツを、簡単に登録でき、市内の学校ですぐに活用できるデータベースサイトである。

今後、学校の情報化が進むことによって教師一人一人に求められるものは、「情報活用能力の内容の理解」、「指導法改善のための情報手段の適切な活用の理解」、そして何より、「全員が協力して学校の情報化に参画しなければならないという認識」である。このポータルサイトは、できるだけ多くの先生が、情報化を身近なものとして実感し、参画していくことができるよう、わかりやすく構成した、子どもたちと教師みんなで作り育てる教育支援サイトである。



〔児童・生徒用トップ画面〕

〔教材・実践事例登録画面〕

〔登録された実践事例の例〕

(4) 教育活動につながる専門性を高めるための支援〔情報教育に係る研修〕

「教育の情報化」に向け「特色ある教育」を展開するためには、個々の教師がその専門性を習得することが重要である。と同時に、自らの力量を常に高めようとする意欲が必要である。本年度、教育委員会では情報教育に関係した以下の研修を実施している。

「岡山市情報教育担当者会」(全校担当者) ・岡山市「教育の情報化」の取組他

「岡山市情報教育指導者研修会」(全校希望者) ・情報モラル・教材の作成他

「10年経験者研修共通選択（コンピュータ）」（対象者） ・教材の作成他

「初任者研修選択（情報）」（対象者） ・教材の作成他

「教育の情報化モデル校連絡会」(対象校) ・各校の取組発表・研究会の計画他

「教育の情報化モデル校研究会」(中学校区単位)・授業実践の紹介・教材づくり他

「情報教育セキュリティ研修会」(全校担当者) ・情報モラル・著作権他

「校長研修」「養護教諭研修」「事務職員研修」（各対象者） ・岡山市「教育の情報化」の取組他

(5) 学校事務の効率的な運用に向けた取組 [リットスクール基盤整備事業]

学校事務の効率化は、厳しい財政状況の中、経費削減のための一つの解決策であり、学校に時間的なゆとりをもたらす方策でもある。岡山市教育委員会では、昨年度より、〈就学事務〉〈就学援助〉〈学校保健〉〈学校給食〉〈学校図書〉〈学校備品〉等の管理システムを統合した学校事務支援総合システムを構想し、現在、その構築に向けて取組を進めているところである。

3 おわりに

モデル校事業等の推進により、「特色ある学校づくり」を支える教育の情報化へ向けた意識が高まりつつある。今後も、これらの施策を通し、ハードとソフトの両面から学校現場を支援していきたいと考えている。



岡山市教育ポータルサイト「みんなおいで」
<http://www2.city-okayama.ed.jp/>

(岡山市教育委員会教育企画総務課 青木 将)